

4. 津波避難場所「家島命山」が完成します

津波到達までに高台や津波避難ビル等へ避難できない地域住民や公園利用者が緊急に避難する場所として、昨年8月から整備を進めている津波避難場所「家島命山」が今月末に完成します。

家島地区沿岸部の標高が約2～4mであるのに対し、南海トラフ地震における最大想定津波高は3.6mと想定されています。津波避難は浸水想定区域外の高台等への避難が基本ですが、家島地区には津波避難ビル等が少ないため、標高10mの人工高台(命山)を築造しました。

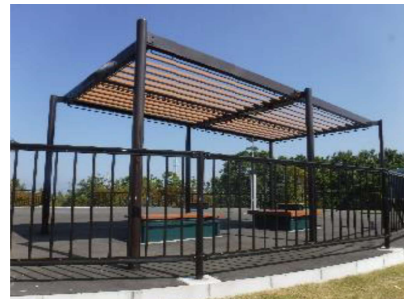
避難スペースとなる頂上部分にはテントや簡易トイレ等も備え、家島地区の一部住民や公園利用者等400人の避難を想定しています。

1. 施設の概要

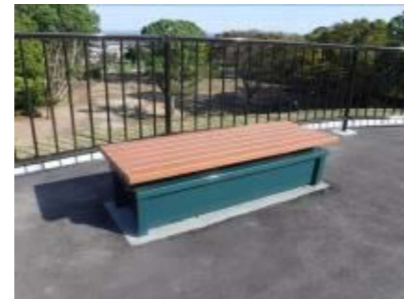
名称	津波避難場所 家島命山
場所	大分市大字家島(家島緑地内)
面積	400㎡(避難スペース)
標高	10m
避難可能人数	400人
工事費	約2億1,500万円



設備



防災パーゴラ(1基:3m×6m)
災害時にはテント設営可能



防災ベンチ(6基)
防災資機材が収納可能



防災倉庫(1基)
簡易トイレ等を収納



照明施設(3基)
ソーラーパネル式を使用

2. 家島命山完成記念式典および見学会

家島命山の完成を記念し、関係機関や地元の方を招き式典と見学会を開催します。

日時	11月6日(月) 午前11時～
場所	家島命山(家島緑地内)
出席者	大分市長、大分市議会議員、三佐校区自治会、大分東警察署、大分市東消防署、大分市消防団第2方面隊ほか
内容	あいさつ、記念写真撮影、テープカット、施設見学会など

《参考》 家島命山の位置図



【防災危機管理課 内線1126】